

# 町の考えを聞く



金融機関などが利用している旧山田病院



本木敏明議員

## 復興計画

### 津波シミュレーションは非現実的

### そんな情報は見ていない

**質問** 町の復興計画では大沢・柳沢地区は基本的に従来どおりの土地利用である。しかし県は浸水シミュレーションは非現実的で不正確であり、今回並みの津波では、再建した防潮堤でも冠水は免れないとしている。町長の見解は。

**沼崎町長** そのような情報は見ていない。同じく県によると、

最大級の津波が防潮堤を越流した場合、防潮堤は破壊され形はなくなると想定している。町の考え方とかなりの隔たりがあるのでは。

**植田技監** 町の計画では防潮堤のほかに避難路などを整備し、ハード・ソフトの両面での防災を考えている。  
**質問** 防潮堤の耐用年数は約60年とも言われている。

そのほかの質問

- ◆ 学校給食について
- ◆ 防災行政無線について
- ◆ 10年後の山田町の規模について

## 議員5人が一般質問

### 病院再建

### 山田病院は旧跡地へ

### 全く考えていない

また、県は10月の住民説明会で示した50メートルの底幅防潮堤案を白紙としたが、規模は縮小になると思われる。こうした点から防

潮堤への過度の期待による土地利用計画は見直すべきでは。

**沼崎町長** 住民説明会での50メートル底幅というのは県の担当課長の個人的発言であり、それを根拠に計画を作っていない。県も新たな防潮堤案を検討中と聞いている。

**質問** 町長はこれまで現在の山田病院を改修し再利用すると明言してきたが、旧山田病院（八幡町）は今回の地震・津波・火災という大震災から被害を免れた。安全が証明されたこの場所を移転先にしては。

便性も良い。最適地と思うところを町民の要望として県に届けることも町の仕事では。

**沼崎町長** 現在地（柳沢）での再建についてさまざまな議論はあるが、場所の選定は県が行うものであり、町は口出しをできない。

**沼崎町長** 町の復興計画に県立病院の位置を盛り込むことはあり得ない。旧山田病院は震災前に議会との協議の上、図書館や歴史資料館としての利用を計画している。

**質問** 旧山田病院は、新たな中心市街地計画とも隣接し、超高齢化時代を迎え利

その上で議会と地域医療を守る会との連携を図りながら、旧山田病院利用計画との関連を踏まえて調整し、県に要望していきたい。